

【ご参考資料】

2018年11月13日

野村アセットマネジメント株式会社



「野村リアルグロース・オープン」 足元の動きと当面の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村リアルグロース・オープン」（以下、ファンド）について、足元の基準価額の推移、運用担当者が考える注目ポイントと当面の見通しについてご説明いたします。

ファンドの基準価額

ファンドの基準価額は、国内株式市場の下落の影響により、2018年10月以降下落に転じ、11月8日現在、20,873円、基準価額（分配金再投資）は、24,254円となりました。

詳細な説明については次ページ以降をご参照ください。

基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

足元の基準価額の推移

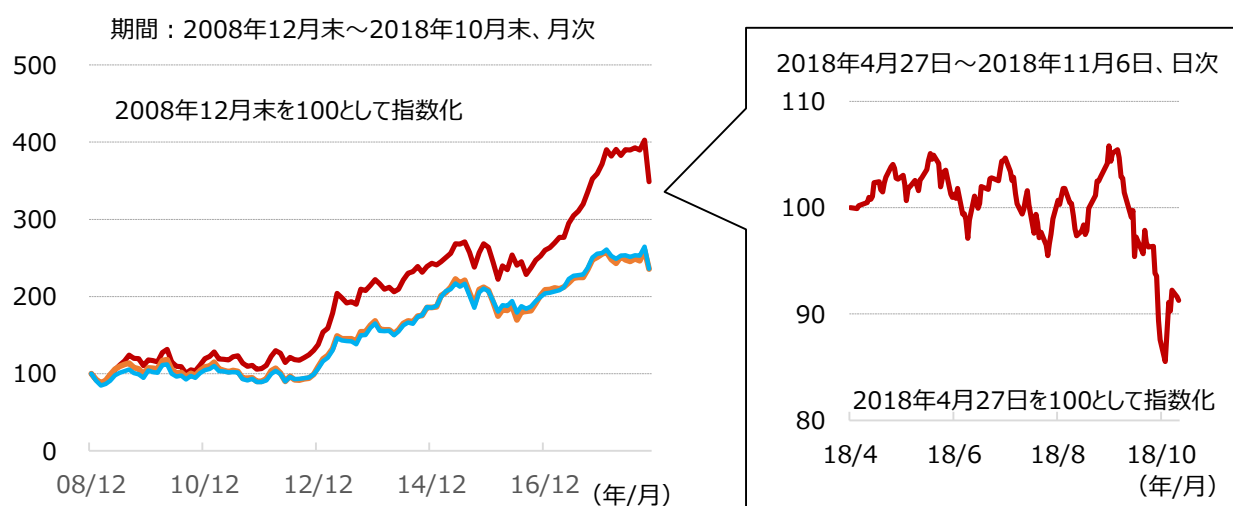
米中貿易摩擦等に端を発した世界情勢不安や米金利の上昇懸念などを背景に投資家心理を冷やす状況が続き、国内株式市場は2018年10月に大きく下落しました。特に、2017年来の上昇局面で、大幅に上昇した小型成長株式については、利益確定の売りが加速しました。ファンドでは小型成長株式を多く保有していることから、基準価額は下落しました。

相対的に収益性、成長性の高い小型成長株式は、PER（株価収益率）やPBR（株価純資産倍率）などの株価指標面で市場平均に対して高く評価されていたこともあり、強い売り圧力を受けました（次ページ上図参照）。

基準価額（分配金再投資）の2018年9月28日から11月6日までの下落率は-13.2%となり、ファンドのベンチマークであるRussell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み）の-10.0%と比較して大きな下落となりました。基準価額（分配金再投資）は足元ではベンチマークを下回ったものの、3年、5年、10年の中長期で見れば、ベンチマークを大きく上回るパフォーマンスとなりました。

基準価額（分配金再投資）の推移

■ ベンチマーク：Russell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み） ■ 基準価額（分配金再投資）
 ■ <ご参考> TOPIX（配当込み）



期間別騰落率

	3年	5年	10年
①基準価額（分配金再投資）	35.8%	67.8%	239.4%
②ベンチマーク：Russell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み）	15.1%	57.0%	135.9%
超過収益率（①－②）	20.8%	10.7%	103.5%

期間別騰落率の各計算期間は、2018年10月末から過去に遡った期間としています。四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

（出所）野村証券株式会社、ブルームバーグのデータにより野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

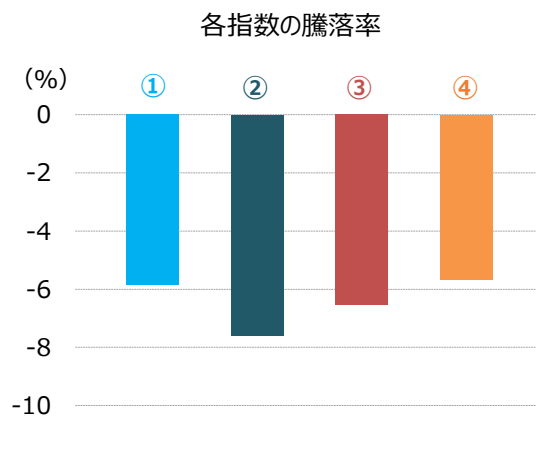
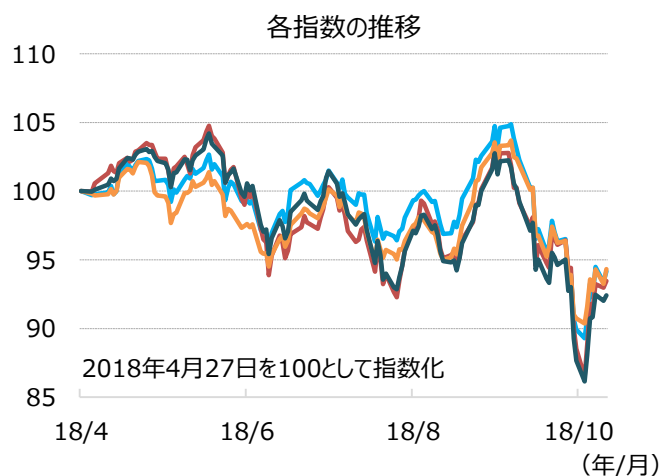
国内株式のパフォーマンス比較

ファンドでは小型成長株式を中心に投資しています。足元のパフォーマンスをみると、2018年4月末以降の国内株式市場は下落基調となる中、小型成長株式は大幅に下落しました。一方で、2008年12月末以降でみると、小型成長株式は他の指数を大きく上回るパフォーマンスとなりました。

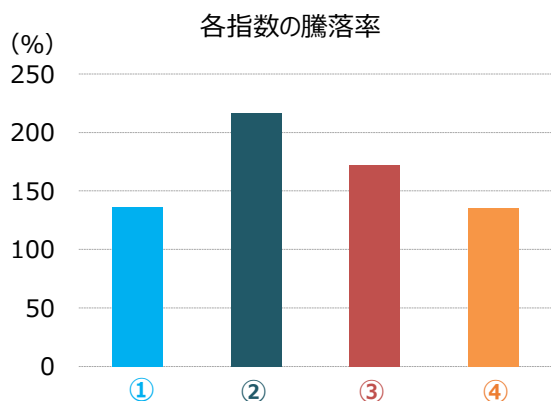
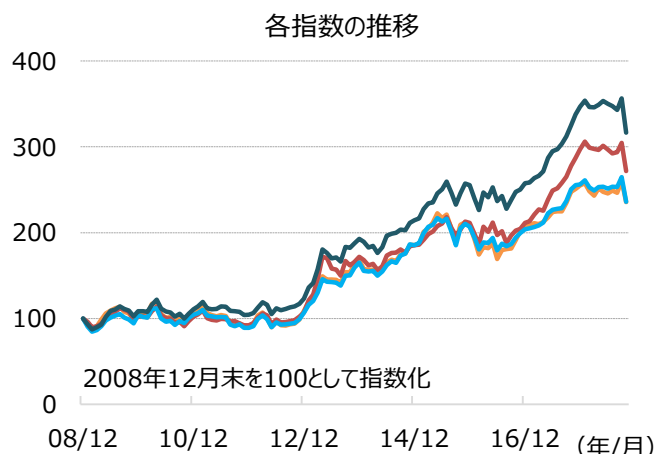
国内株式のパフォーマンス比較

- ①ベンチマーク：Russell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み）
- ②小型成長株式：Russell/Nomura Small Growthインデックス（配当込み）
- ③超小型成長株式：Russell/Nomura Micro Growthインデックス（配当込み）
- ④TOPIX（配当込み）

＜期間：2018年4月27日～2018年11月6日、日次＞



＜期間：2008年12月末～2018年10月末、月次＞



(出所) 野村証券株式会社、ブルームバーグのデータにより野村アセットマネジメント作成

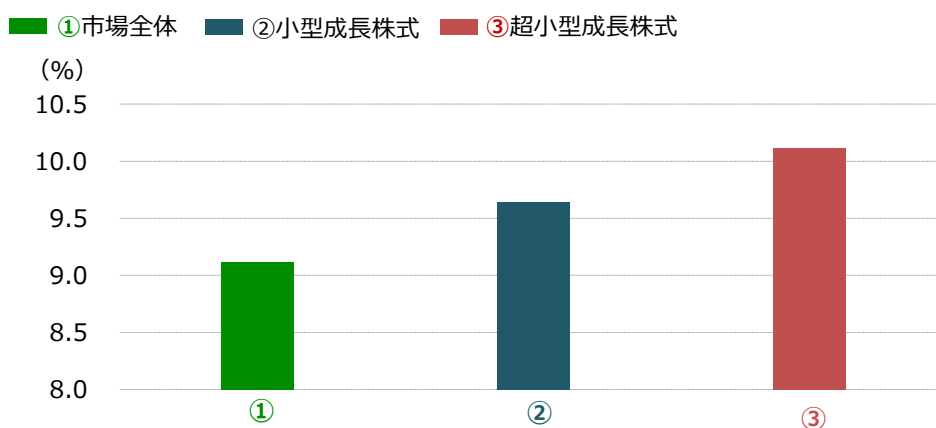
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

運用担当者が考える注目ポイントと当面の見通し

米国の政治動向や中国の経済動向など今後の外部環境についてはやや不透明な部分があるものの、小型成長株式の優位性は引き続き高いと考えています。ファンドが多く保有する小型成長株式については、高い競争力や優れたビジネスモデルなどにより、金利や為替の水準にかかわらず利益が伸びる銘柄が多くみられ、足元の業績に大きな変化は起きていません。足元では、投資家のリスク回避姿勢がみられるものの、中長期的には成長性を織り込む形で小型成長株式のパフォーマンスも回復してくると思っています。ファンドの投資の軸は「利益成長＝株価上昇」です。短期的な相場変動の影響にぶれることなく、中長期における利益成長の高い銘柄を保有することにより、高いリターンが期待できると考えています。

今期の予想経常利益増益率 2018年10月現在



市場全体：Russell/Nomura Total Marketインデックス、小型成長株式：Russell/Nomura Small Growthインデックス、超小型成長株式：Russell/Nomura Micro Growthインデックス

原則として野村証券予想、東洋経済新報社予想にて補完（2018年10月31日現在）。

（出所）野村証券株式会社、ブルームバーグのデータにより野村アセットマネジメント作成

今後とも「野村リアルグロース・オープン」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◀当資料で使用した市場指数について▶

・Russell/Nomura 日本株インデックスはラッセル・インベストメントと野村証券株式会社が作成している株式の指数で、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はラッセル・インベストメントと野村証券株式会社に帰属しております。また、ラッセル・インベストメントと野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

・東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下「株」東京証券取引所」という。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は（株）東京証券取引所が有しています。（株）東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しています。

◀分配金に関する留意点▶

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- わが国の株式を実質的な主要投資対象[※]とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村リアルグロース・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 組入銘柄の選定にあたっては、主として個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」により中長期的に高い成長が期待できる企業の株式(成長株)を選別します。さらに、企業の株価水準について、当該企業の成長性を勘案したうえでのバリュエーション評価(割高・割安度合いの評価)等を行ない、ポートフォリオの構築を行ないます。
- Russell/Nomura Total Market Growth インデックスをベンチマークとします。

※Russell/Nomura Total Market Growth インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのスタイル別の指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスはラッセル・インベストメントと野村證券株式会社が作成している株式の指数で、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はラッセル・インベストメントと野村證券株式会社に帰属しております。また、ラッセル・インベストメントと野村證券株式会社が、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

- 株式の実質組入比率は、高位(フルインベストメント)を基本とします。
- ファンドは、「野村リアルグロース・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年10月29日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【投資リスク】

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2003年10月30日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則10月29日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

【ごファンドに係る費用】

(2018年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.62%(税抜年1.50%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

野村リアルグロース・オープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。